東濃高校スクール・ミッション(令和7年3月策定)

①期待される社会的役割

多様な価値観や個性、文化を持つ生徒が共に育ち学ぶ高校として、

②高校の存在意義

主体的な学びと地域に根差した教育活動を通して、

③目指すべき学校像

次代を担い、ふるさとに貢献できる人材の育成を目指す学校。

・「スクール・ポリシー」に込められたキーワードを継承

・外国につながる生徒も含め、どこにあってでも本校での学びを生かして活躍してくれる思いを「ふるさと」に込める。

東濃高校スクール・ポリシー(令和4年3月策定)

■ 教育目標 知・徳・体の調和のとれた将来有為な人材を育成します。

◆ グラデュエーション・ポリシー(GP)『育てたい生徒像』

- ・ 自ら学び、自ら考え、判断し適切な行動ができる生徒
- ・ 多様な価値観、個性、文化を認め、互いを尊重して行動できる生徒
- ・ 変化する社会に適応して、地域に信頼され、貢献できる生徒

◆ カリキュラム・ポリシー(CP)『生徒をどう育てるか』

- ・ 生徒の実態に合わせた主体的・対話的で深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と授業実践
- ・ 多様な価値観や個性を持つ生徒どうしの学校生活を通して、互いを尊重し互いに認めあいながら、自己肯定感を伸長することのできる人間性の育成
- ・ 地域や外部と協働し、すべての特別活動、部活動や教科学習を通じて、地域の課題を発見・解決できる「主体的・対話的で深い学び」や「探究的学び」の推進

◆ アドミッション・ポリシー(AP)『どんな生徒を待っているか』

- ・ 基本的な生活習慣が身に付いており、ルール・マナーが守れる生徒
- ・ 多様な価値観を認め合い、他者を尊重して主体的に学べる生徒
- ・ 将来、社会的に自立するために、自己の進路実現に向け意欲的に努力することができる生徒